安全データシート

改訂日:2022年4月18日

1. 化学品及び会社情報 化学品の名称 会社名

住所 電話番号

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 健康に対する有害性 ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語 危険有害性情報

注意書き

鉄粉.300

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪·本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

06942

可燃性固体:区分2

急性毒性(吸入:粉じん):区分4





警告

可燃性固体

吸入すると有害(粉じん)

【安全対策】

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。―禁煙

容器を密閉すること。/アースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

火災の場合、消火には適切な消火剤を使用すること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる こと。

気分が悪い時は医師に連絡すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に

業務委託すること。 皮膚/眼を刺激する。

皮膚への接触:発赤

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 化学名又は一般名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な兆候及び想定される非常事態の概要

濃度又は濃度範囲

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

混合物

酸化鉄 鉄

CAS RN:

Fe Fe_3O_4 7439-89-6 1317-61-9 85%以上 約11%

対象外 (1)-357

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

口をすすぎ鼻をかませる。新鮮な空気のところに移動させる。気分が悪い 時は医師の診断/手当てを受ける。

汚染された衣服を脱がせる。多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。皮膚

への刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受ける。

数分間多量の水で洗い流し(できればコンタクトレンズを外して)、医師の

診断/手当てを受ける。

口をすすぐ。多量の水を飲ませて吐かせる。気分が悪い時は医師の診断

/手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤 特有の危険有害性

乾燥砂、泡末消火剤

製品の粉末を飛散させないように粉末消火剤の使用は避ける。

粉末の飛散により火災が拡大するおそれがある。

特有の消火方法

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い

技術的対策 安全取扱い注意事項 ^{接触図 選}

接触回避 衛生対策

保管

安全な保管条件 安全な容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(出典)

管理濃度

日本産業衛生学会

ACGIH 設備対策

保護具

呼吸用保護具 手の保護具 眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 臭い

融点/凝固点

沸点又は初留点及び沸点範囲

燃焼性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

引火点 自然発火温度 分解温度 pH

動粘性率(粘度)

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度 蒸発速度

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性 危険有害反応可能性

避けるべき条件 混触危険物質

危険有害な分解生成物

11. 有害性情報

急性毒性

容器を他の場所に移動させる。移動できない場合は容器周辺に注水して 冷却する。

大量の場合、水噴霧により冷却する。

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。

保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。

河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

こぼれた物質を容器内に掃き入れる。

残留分を多量の水で洗い流す。

放電火花を発生しない道具を用いる。

漏れ、あふれ、飛散しないようにする。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。

酸

作業中は飲食/喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗うこと。

高温多湿を避け(40°C以下)、風通しのよい場所で密封して保管する。 ポリエチレン

該当情報なし。

1mg/m³(吸入性粉じん)

該当情報なし。

取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。

防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。

ゴム手袋を着用する。 ゴーグルを着用する。 作業着を着用する。

暗灰色の粉末

無臭

不溶

該当情報なし。 該当情報なし。 7.86g.cm³(鉄粉) 該当情報なし。 該当情報なし。

通常の取り扱いにて安定である。 酸との接触により爆発性のある水素ガスを発生する。 湿気により酸化し赤熱することがある。 高温、湿気(水分)、混触禁止物質との接触

酸、塩素酸ナトリウム、過酸化水素

該当情報なし。

以当日刊ない

経口: 経ロ-ラットLD50が30,000mg/kgであることから区分外とした。(Feの情報)

経皮:該当情報なし。

吸入: EU分類ではR-Phrase20(吸入すると有害)となっており区分4に相当する。 (Feの情報)

皮膚を刺激する。(データ不足の為、分類できない) 眼を刺激する。(データ不足の為、分類できない)

該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない)

誤えん有害性 12. 環境影響情報

発がん性

牛殖毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

特定標的臓器毒性(単回暴露)

特定標的臟器毒性(反復暴露)

生殖細胞変異原性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

生態毒性 短期: 該当情報なし。 (急性)

> 長期: 該当情報なし。 (慢性)

残留性・分解性 該当情報なし。 生体蓄積性 該当情報なし。 土壌中の移動性 該当情報なし。 オゾン層への有害性 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号

品名(国連輸送名)

国連分類 容器等級

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送 海上輸送 航空輸送 応急措置指針番号

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法) 毒物及び劇物取締法

労働安全衛生法

消防法

16. その他の情報 参考文献

3089

金属粉末(燃焼性

4.1 (容器等級Ⅲであり燃焼性

Ш

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

消防法の規定に従う。 船舶安全法の規定に従う。 航空法の規定に従う。

170

指定化学物質に該当しない。 毒物及び劇物に該当しない。

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物〔酸化鉄〕 [施行令別表9] (第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)

危険性又は有害性を調査すべき物[酸化鉄]

危険物に該当しない。

政府向けGHS分類ガイダンス(平成25年度版)

経済産業省HP

The-Sigma-Aldrich Library REGULATRY snd Safety Data Vor.3 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。